

ハーモニープラザだより

発行：秋田県中央男女共同参画センター 電話：018-836-7853 <http://www.akita-kenmin.jp/c-center/>
〒010-0001 秋田市中通2丁目3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO 法人いきいきFネット秋田

平成25年1月発行
vol.23

開催レポート (11/9)

もっと

参画フォーラム

ハーモニープラザまつり2012



「ハーモニープラザまつり2012」1日目の午後、7階研修室で開かれた「もっと参画フォーラム」には、まつり参加者、実行委員ら合わせて60名の参加がありました。

今年度は、8月から何度か開かれた実行委員会の中から、「男女共同参画社会が実現された社会とはまだまだ言い難い」「不平等、おかしいと感じるところが未だに多くある」との声が多く、センターを利用している活動団体の一員として男女共同参画を推進する意識を共有したいとの強い思いから、「私からはじめる。男女共同もっと参画」をテーマとしたフォーラムの開催が実現しました。

望月一枝さん(秋田大学教育文化学部教授)をコーディネーターに「これまでに感じてきたおかしなこと、不平等なこと」の体験を実行委員会や実行委員から推薦のあった6名のスピーカーに発表してもらい、それぞれの内容について会場の参加者同志が話し合ったり発言したりしながら、これまでの性別役割やジェンダーを重視した関係性のあり方や、私たち一人一人が希望する社会との関わり方をそれぞれが考えました。

スピーカーの一人は、親の決めた結婚相手と結婚し、家庭をまったく顧みない夫との関係性に苦慮しながらも子育てを終え、ようやく自分らしい活動も出来るようになったと今の状況を語ってくれました。また、あるスピーカーは父親の姿を見て育ちながら、絶対父のようにはなりたくないとの思いから、自分を変える努力をしてきたこと、自分も変わり周囲も変わってきたことについて語りました。小さな子どもがいるスピーカーは子どもを育てながら活動することは大変だが、もっと色々なことに参加したいし、それが可能な世の中になってほしいと、社会や自らの活動への希望を語ってくれました。

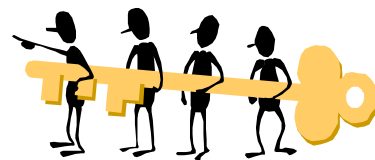
6名の発言に共通していたことは、それぞれの境遇や人生の岐路にたった時にも自分に出来ることや役割があると感じ、それを自身の生活や社会の中で生かしていく努力をしていたことでした。

そのことについても、コーディネーターの望月先生は「困ったことがあった時、もう一つの選択肢があると思えることでエンパワーする。自分の力で社会と関わって力になる」と話し、こうすべき、こうあるべき等の思い込みの多い社会の中で、個人から社会を変え、男女共同参画を進めるためにも「私からはじめること」の必要性を述べられました。そして、自分の思いを自由に言葉で語る、まさに参加者全員で共有した時間となりました。

◆◆ 目次 ◆◆

- P1・【開催報告】ハーモニープラザまつり2012 もっと参画フォーラム
- P2・【開催報告】地域で防災チェック&アクション事業 in 出戸小学校、アクティブシニアへ変身応援事業 in にかほ市
- P3・【開催報告】ハーモニーうたごえサロン、子どもの虐待回復プログラム～MY TREEに学ぶ～、Nobody's Perfect
- P4・相談室から、お知らせ、他

地域で防災チェック&アクション事業 in 出戸小学校 第3回 「PTA研修 避難所運営ゲーム」



11月20日(火)、潟上市立出戸小学校PTAの研修として、避難所運営ゲームHUGが行われ、保護者と地域住民ら34名が参加しました。

避難所運営ゲームHUGは、災害発生後の避難所運営を机上で疑似体験するもので、7月の職員研修に続き2回目の実施となりました。

身近な学校が避難所となった時の使い勝手を考えながら、地域で暮らす様々な世代の人々や、障がいを持つ人などへの対応について、グループで話し合いました。中にはこの度の東日本大震災で実際に避難所での

過ごした経験がある保護者もいて、体験を聞くこともできました。

「生活に密着したことは女性のほうが話しやすいこともある」「女性のリーダーが必要だ」という意見や、「日頃から防災意識を高めておくことが大事だ」「このゲームをやってみて、避難所の大変さが少しはわかった」という声もあり、防災について日常からの意識や備えの大事さを改めて確認する機会となりました。



アクティブシニアへ変身応援事業 in にかほ市 すてきな生き方講座 ～“音楽”で元気な人生を♪

12月1日(土)金浦勤労青少年ホームで、シニア世代が地域において社会参加と日頃から活力のある生活を送れる機会となるための講座として開催しました。実施団体は、にかほ市地域婦人団体連絡協議会で、講師にダースコちんどん隊の皆さんをお迎えして、行われました。

来賓の市長の挨拶の後、にかほ市のF・F推進員や人権擁護委員等による対話劇「心はひとつ」の上演が行われました。退職をした夫が地域のボランティア活動に出ることをテーマにしたシナリオで、会社の中での上下関係では、地域の中ではうまくいかないことに気づき、変わろうとする男性の姿を描いた内容を、方言を交えての軽妙な語り口で演じていました。

続いて、講師のダースコちんどん隊のカチューシャ安田さんが、ちんどんをやるに至った経緯や、自分のやりたいことをやる覚悟と苦労などを語られました。思いがけず、“ちんどん”という仕事を選び、今は妻や娘と一緒に苦楽を共にしている様子からは、家族の絆を感じることができました。その後のパフォーマンスでは懐かしい歌の大合唱となり、参加者も交えての皿回し芸の披露などで、会場は笑い興奮で大いに盛り上がりました。

アンケートからも明るく元気になれる講座でよかった、来年も開催してほしいとの声も多く寄せられ大好評でした。今回、主催のにかほ市地域婦人団体連絡協議会の方々は、講座の準備・運営も素晴らしく、「すてきな生き方講座」というタイトルにふさわしいイベントであったと感じました。



年忘れ

ハーモニー うたごえサロン

今年度第2回目となるハーモニーうたごえサロンは、12月14日(金)6階オープンスペースで開催されました。今回もダースコちんどん隊のカチューシャ安田さんのアコーディオンの調べに乗せて、思い出の歌、なつかしい歌を20曲ほど歌いました。前回は上回る70名余りの参加者の皆さんは、水墨画のような千秋公園の冬景色を楽しみながら、年末の慌しさをしばし忘れ、歌の世界に浸りました。

歌うことは、自分自身を開放すると同時に、人と人のつながり、心の交流を可能にします。歌の合間に歓談の輪も広がり、音楽の“チカラ”を感じる時間となりました。定期開催の要望も多く、検討していきたいと思っています。



北国の春



高原列車は行くよ

銀色の道

雪の降る街を

翼をください

遠い世界に



～子どもの虐待回復プログラム～

MY TREEに学ぶ



11月24日、25日の2日間にわたり、スギッチファンドの支援を受けて、「MY TREEに学ぶ」と題した講座を、NPO法人いきいきFネット秋田の主催で開催しました。

一般参加者の他に、県内の関係施設や相談に関わっている人など約40名の参加者でした。

マイツリープログラムは、森田ゆりさんによって開発された、子どもを虐待してしまう親の心の回復のための心理教育プログラムです。

講師には MYTREE ペアレンツ・プログラム事務局代表の中川和子さんと、プログラムファシリテーターの大久栄さんを迎え、秋田では初めてのプログラムの紹介となりました。

このプログラムは週1回行われ、13回におよぶものです。安心な出会いからはじまり、怒りの仮面や感情のコントロール、体罰についてなど心理的学習をしながら、自己肯定感や信頼感を取り戻す内容になっています。

今回の秋田での講座は、その過程を一通り再現し、参加者自身がエンパワメントされていく実感をグループワークなどを通して味わうことができました。

関西などでは、行政が開催して、約500人の親がこの講座を受けているそうです。匿名性が低い秋田での実施には課題が残りますが、次につなげていく方法を模索したいと思いました。

子育て仲間(のしゃべい場)

ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム

ノーバディーズ・パーフェクトというのは、『完璧な親なんていない!』という、カナダで生まれた、5歳までの子どもを持つ親のためのプログラムです。この度、秋田県子育て支援課から親支援講座開催補助金を受け、平成24年10月23日から12月4日までの毎週火曜日、全7回の連続講座で行われました。

この講座は、同年齢の子どもを持つ親たちに対し、子育て中のストレスを軽減するために、本音で話せる安全な場を提供すると同時に、仲間作りを支援する目的で開かれたものです。今回参加された皆さんも「普段言えない悩みを言えた」「悩みを聞いてもらえてよかった」「悩みはみんな同じなんだと分かった」などという感想が寄せられ、長期に及んだ講座も好評のうちに終了することができました。今後のフォローアップも考えていきたいと思っています。



<相談室から>

夫やパートナーからの暴力及び被害者保護・支援を目的としてつくられたDV法は、平成13年に施行されました。おんな子どもと一括りにされ、尊重されなかった女性の人権擁護と男女平等の実現を図るためにつくられたものです。施行されてから10年以上の年月が過ぎましたが、今の社会は変わったと言えるでしょうか。

法が家庭内に入ったことはとても大きなことでした。昔気質な伝統や社会通念が重んじられる社会が一掃されたということ。女性であるということに従属的な存在である必要がなくなり、一人の人間としての当然の権利が謳われたということ。女性が着せられたジェンダーという衣を脱いで自分の人生を自分らしく生きていいということです。しかし、当相談室に寄せられる問題からは、未だ女性が尊重されているとは言い難いものがあると感ずります。

法が施行され、男女平等が謳われたのですから、画期的に社会が変わってもいいはずなのに10年以上たった現在も変わらないのは、なぜでしょうか。それは、人々の意識を変えることがとても難しい事だからではないかと思えます。家制度などの日本の社会通念、そこから発生するジェンダーバイアスなどがいかに社会の隅々や個人の意識の中に根強くあるかということです。女性は他者を気遣うよう育てられがちで、女性がそのように立ち振る舞うことで、男性に優位な社会が成り立ち維持されてしまいます。DV被害者が勇気をもって声を挙げたなら、施行された法に則って対応し被害者が救われたなら、社会は変わっていくはずですが。法も国が定めた重要課題としての人権擁護も生きたものになるはずですが。しかし残念ながら、社会通念が未だ根強くある社会では、声を挙げた人が曖昧な扱いを受け、却って傷つくことも否めません。

女性があげる悲鳴こそ、参画社会の深く大きな問題点です。そのことを基に社会問題としてみんなで考え、意識改革をしていかなければという思いを強くします。個人の問題は社会の問題です。DVなどの女性問題はもちろん、どうにもならないとあきらめたり、いつも引っかかっていることをたいしたことではないと思わずに、どうぞ相談室において下さい。どのようなお話もあなたの思いを尊重し、問題解決に向けて一緒に考えていきます。

【相談直通ダイヤル】018-836-7846

お知らせ

【2月の予定】

- ・パソコン教室 2/13、2/27(水) 10:30~
- ・折り紙教室 2/14、2/21(木) 10:30~
- ・健康講座 2/19(火) 11:30~12:00
「花粉症について」
- ・わんぱく広場(こどもサロン) 2/25(月) 10:30~
- ・おはなし会(こどもサロン) 2/21(木) 14:00~

●●●登録団体の皆さまへ●●●

平成25年度の団体・グループ活動室利用登録更新申込み書を2月中旬に発送いたしますので、必要事項をご記入の上、ご返送ください。

※ご不明な点は、センターまでお問合せください。

なお、今年度第二回利用者懇談会を2月26日(火)に開催いたします。センターへのご意見、ご要望などお伺いしたいと思いますので、是非ご出席くださいますようお願いいたします。

開催予告

平成24年度 第2回
地域連携ネットワーク会議

日時：平成25年2月4日(月) 14:00~16:00
場所：センター研修室(アトリオン7F)
参加対象：ハーモニーネット団体、センター利用団体、
地域振興局、市町村、F・F推進員等
内容：センター事業説明
ワークショップ「男性にとっての男女共同参画」他

おもちゃ病院がやってくる!!

日時：2月24日(日) 10:00~14:00
場所：こどもサロン(アトリオン6F)

こわれたおもちゃを
もってあそびにきてね!



平成25年度上半期(4月~9月)の研修室の予約受付は、3月1日(金)からです。
お問合せ・申込み：秋田県中央男女共同参画センター
Tel018-836-7853